

DIAGNOSTIC TOOL 操作ガイド

HDM-10000

三菱車(デリカ D:5 など/ディーゼルエンジン車)の作業サポート「微小噴射量学習」による

コモンレール噴射システムの噴射量補正

注意事項/必ずお読みください

- ●本書は日立ダイアグノスティックツール HDM-10000 用診断ソフトの診断機能の操作方法、活用事例 について紹介するものです。自動車メーカー発行の整備解説書を代替するものではありません。
- ●実際の作業にあたっては必ず自動車メーカー発行の整備解説書で正式な作業手順、注意事項を ご参照のうえ、作業を行ってください。
- ●自動車メーカーにより予告なく車両の仕様が変更されるため、本資料で紹介する機能が使用できない 場合があります。

1.三菱車(デリカD:5 など)のコモンレール噴射システムの噴射量補正の手順概略

- 三菱車(デリカD:5 などのクリーンディーゼルエンジン車)ではスキャンツールの作業サポート「微小噴射量学習」を使用して コモンレール噴射システムの噴射量補正を行います。
- ●コモンレール噴射システムの噴射量補正はエンジンの性能維持のため、自動車メーカーが12ヶ月点検ごとに行うことを 推奨しております。
- ●作業サポート「微小噴射量学習」を使用したコモンレール噴射システムの噴射量補正はエンジンを始動し、 アイドリングの状態で行います。換気が出来る環境下で行ってください。
- ●作業サポート「微小噴射量学習」を使用したコモンレール噴射システムの噴射量補正の手順は以下となります。

車両の灯火類の OFF、暖機運転を 行い「微小噴射量学習」が実行できる 条件を整える。 (2~4 ページの手順 01~04)

スキャンツールの「微小噴射量学習」を実行して コモンレール噴射システムの噴射量補正を実施する。 (5~6ページの手順 05~06)

(次ページに続きます)

2.HDM-10000 用三菱診断ソフトの「微小噴射量学習」によるコモンレール噴射システムの噴射量補正手順

【手順 01:HDM-10000 の車両への接続】

①HDM-10000を車両側診断コネクターに接続してください。HDM-10000が起動します。

②車両側エンジンスイッチを押してエンジンを始動してください。

③HDM-10000 メニュー内の診断を選択して ENTER キーを押してください。



【手順 02:三菱診断ソフトの起動から仕向けの選択まで】

①メーカー選択が表示されます。画面の左側で「国産乗用車」を選択し、画面の右側の一覧で「三菱」を選択して ENTER キーを押してください。三菱診断ソフトが起動します。

11:19	OS v2.10	Batt: 14.22 V	11:19	Mitsubishi ∨6.40	Batt: 14.29
	メーカー選択				
国産乗用車	トヨタ/レクサス			三茶 診断ソフト	
輸入車	日産/インフィニテ	ティ		二変 診断アンド 6.40	
国産トラック	ホンダ/アキュラ				
OBDII	三菱			Jan 7 2025	
	スズキ				
	ダイハツ				
	マツダ				
	スバル				
2					

②車両選択が表示されたら「その他(2006 以降)」を選択して ENTER キーを押してください。その後に表示される

仕向けで「JAPA	N」を選択	えして ENT	ER +	を押して	ください。
11:19	Mitsubis 車両:	hi v6.40 選択		Batt: 14.30 V	
その他 (2006以降)					
その他(2005以前)					
デリカ D:2					.
eK ワゴン (H81W)					
	ENTER:選択	EXIT:戻る			

③年式で該当する項目を選択して ENTER キーを押してください。(三菱車はモデルイヤーで表記されます)
※製造年月日で年式を選択すると次ページの手順 03 の
①の車種の画面で該当する車両が表示されない場合があります。EXIT キーを押して年式の画面に戻り、車両に該当するモデルイヤーを選択してください。

11:19	Mitsubishi v6.40 仕向	Batt: 14.24 V
JAPAN		
MMNA		
EUR		
EXP		
MMAL		
	ENTER:選択 EXIT:戻る	

11:36	Mitsubishi v6.40	Batt: 14.21 V
	年式	
2016		3
2017		
2018		
2019		
2020		1
2021		
2022		1
2023		÷
	ENTER:選択 EXIT:戻る	

【手順 03:車種の選択からシステム選択まで】

①車種が表示されたら該当する項目を選択して ENTER キーを押してください。その後に表示される

エンジン/モーターで該当する項目を選択して ENTER キーを押してください。

11:20	Mitsubishi v6.40 車種	Batt: 14.14 V	11:20	Mitsubishi v6.40 エンジン/モーター	Batt: 14.16
MIRAGE		±.	4N14 (2.2, D	04, I/C, T/C, Auto Stop & Go(AS&G))	
DELICA D:5					
MINICAB-MIEV					
RVR					
ECLIPSE CROSS (GK#)				
EK-X / EK-WAGON (B	3#)				
EK-X-SPACE / EK-SP	ACE / DELICA MINI (B3#)				
ECLIPSE CROSS (GL#)	9			
	ENTER:選択 EXIT:戻る			ENTER 選択 EXIT 戻る	

②トランスミッションが表示されたら該当する項目を選択して ENTER キーを押してください。その後に表示される 型式で該当する項目を選択して ENTER キーを押してください。

20	Mitsubishi v6.40 トランスミッション	Batt: 14.19 V	11:31	Mitsubishi v6.40 型式	
AWA (8A/T-4WD)			CV1W		
	ENTER:選択 EXIT:戻る			ENTER:選択 EXIT:戻る	

③類別が表示されたら該当する項目を選択して ENTER キーを押してください。 三菱メインメニューが表示されたら 診断を選択して ENTER キーを押してください。

11:31	Mitsubishi ∨6.40 類別	Batt: 14.26 V	11:31	Mitsubishi v6.40 三菱 メインメニュー	Batt: 14.16 V
LUHFZ					
LUSFZ					Y1 -
LUXFZ					
LUPFZ			診断	カスタマイズ	作業サポート
LUFFZ					
LUDFZ					
			アクティフテ	× F	
	ENTER 選択 EXIT 戻る			ENTER:選択 EXIT:戻	\$

④診断選択が表示されたら「システム別の診断」を選択して ENTER キーを押してください。その後に表示される

システム選択で「MPI/GDI/ディーゼル」を選択して ENTER キーを押してください。

11:31	Mitsubishi v6.40 診断選択	Batt: 14.32 V	11:32	Mitsubishi ∨6.40 システム選択	Batt: 14.26 V
システム別の診断	î		MPI/GDI/ディー	ーゼル	1
簡易の全自己診断	f(現在故障)		AT/CVT/TC-SST		E
詳細の全自己診断	f(現在故障・過去故障)		4WS/パワステ/	'チルト	
			ABS/ASC/ASTC/	WSS	
			SRSエアバッグ		
			エアコン		
			ETACS		
			ACC/FCM		(F)
	ENTER:選択 EXIT:戻る			ENTER:選択 EXIT:戻る	

(次ページに続きます)

【手順 04:データーモニターによる「微小噴射量学習」の実行条件の確認】

①MPI/GDI/ディーゼルが表示されたら「データーモニター」を選択して ENTER キーを押してください。表示項目選択 が表示されたら左右キーで画面下部の「すべて解除」を選択して ENTER キーを押してください。



11:32	Mitsubishi∨6.40 Batt:14.16 V
	表示項目選択 (217)
	電源電圧
	エンジン回転
	目標アイドルスピード
	車速
	大気圧センサー
	圧力センサー
	開始 選択・解除 すべて選択 すべて解除

- ②「エンジン回転」を選択し、画面下部の「選択・解除」を 選択して ENTER キーを押してください。「エンジン回転」
 の左側にある四角にチェックが入ります。
 同じ要領で「大気圧センサー」「水温センサー」
 「吸気温センサー」「燃料温度センサー」「AT 油温センサー」
 の選択を行ってください。
 最後に左右キーで画面下部の「開始」を選択して
 ENTER キーを押してください。
- ③データーモニターが表示されます。表示されている各項目の 値が整備解説書に記載されている「微小噴射量学習」を 実行できる値の範囲に入っているか確認してください。

【補足:デリカ D5/2019.2~の場合】

①「微小噴射量学習」が実行できるデーターモニターの値

- ・大気圧センサー:70kpa 以上
- ・水温センサー:76~100℃
- ・吸気温センサー:-30~100℃
- ・燃料温度センサー:30~100℃
- ・AT 油温センサー:40℃以上
- ②「微小噴射量学習」が実行できる車両側の条件
 - ・灯火類、エアコン、ブロワーファン、付属装備品の作動:全て OFF
 - ・トランスミッション:Pレンジ
 - ・ステアリング:静止状態

11:32	Mitsubishi ∨6.40	Batt: 14.24 V
	表示項目選択(217)	
	電源電圧	4
	エンジン回転	
	目標アイドルスピード	
	車速	
Ø	大気圧センサー	
	圧力センサー	Ŧ
	開始	すべて解除

11:33	Mitsubishi ∨6 データモニ).40 ⊅	Batt: 14.28 V
エンジ゙ン回転			750 r/min
大気圧センサー			101.4 kPa
水温センサー			87 °C
吸気温センサー			75 ℃
燃料温度センサー			59 °C
AT油温センサー			55 °C
	データ保存	印刷	

(次ページに続きます)



(次ページに続きます)

- 再実行する場合は、一旦イグニッションをOFFにする必要があり

ENTER:次へ EXIT:中止

日立Astemoアフターマーケットジャパン株式会社

ます。

【手順 06:微小噴射量学習の実行】

①微小噴射量学習の実行画面が表示されたら ENTER キーを押してください。画面下部の「ENTER:実行」の色が 反転し微小噴射量学習が開始されます。

11:37	Mitsubishi v6.40 微少噴射量学習	Batt: 14.22 V	11:37
実行中		no	実行中
エンジン回転		750 r/min	エンジン回転
車速		0 km/h	車速
大気圧センサー		101.9 kPa	大気圧センサー
水温センサー		87 °C	水温センサー
	ENTER:実行		

②3 分ほど経過して「しばらくお待ちください・・・」が表示された あと右の画面が表示されます。 画面内の「確認」に記載されているとおりエンジン警告灯が 消灯していれば微小噴射量学習は終了です。



Mitsubishi v6.40 微少噴射量学習

(2025.4 発行)

Batt: 14.15 V

yes 750 r/min 0 km/h 101.4 kPa 87 °C